

笑顔いっぱい 清里っ子

学校便り 第4号

もりやま まさのり
文責 森山 資典**前期後半がスタートしました。しかし、新型コロナウイルスの感染防止のために9月9日(木)まで、子どもたちは自宅でのオンライン学習です。****オンラインでの夏休み明け集会**

7月21日(水)から8月31日(火)までの夏休みが終わり、9月1日(水)から前期後半が始まりました。校庭のグリーンカーテンは、ゴーヤや向日葵は花から実、そして、種へと姿を変えています。今年の夏休みは、初旬の猛暑から、8月に入り台風やまるで梅雨末期のような大雨等の自然災害に怯えたり、新型コロナウイルス感染症が荒尾市でも拡大したりと命の危機を感じる休みとなりました。子どもたちにとっては、どんな夏休みだったでしょう。この夏休みに、いろいろな経験や体験をして、それぞれが成長した笑顔で登校してくれました。写真の夏休み明け集会は、例年とは違い、感染防止のために子どもたちは、体育館には集合せずに各教室でのオンライン集会となりました。そして、とても残念ですが、新型コロナウイルスの感染防止のために荒尾市内の小中学校は、9月9日(木)まで、子どもたちは、それぞれの自宅でオンライン学習をしなければなりません。オンライン学習は、先生たちが教室で授業をして、子どもたちは、荒尾市から貸し出されているタブレットを通して自宅等で授業を受ける学習です。午前中に3時間の各教科の授業を



オンライン学習で授業する先生 受けます。ご承知の通り荒尾市内や近隣の市町での感染は拡大し、熊本県は、まん延防止等重点措置が、福岡県は、緊急事態措置が9月12日(日)までとられています。新型コロナウイルスは変異し、デルタ株による感染が猛威を振るっています。このデルタ株が恐ろしいのは、子どもにも感染し、病状が悪化することです。テレビニュースで、乳幼児が感染して病院へ緊急搬送される映像を見て、とても辛くなり、どうかこれ以上悪化せずに一日も早く完治できますようにと強く思いました。また、おとなから子どもに感染する家庭内感染も増えているようです。今まで以上に感染防止に取り組まなければなりません。今の状況は、誰もが感染する可能性があります。決して感染した人が悪いわけではありません。悪いのは**新型コロナウイルス感染症**です。この感染症は、病気が身体を壊して、重症化させる怖さと、その怖さと感染力の強さから、感染した人が差別され、心まで苦しめる二重の怖さがあります。病気そのものに対しては、ワクチンによる感染防止や適切な医療行為、治療薬の開発等で感染予防や治療することができます。しかし、感染への恐怖からくる忌避意識や差別的言動に対しては、どう対処すればいいのでしょうか。感染して入院された方の多くが、近所や友人、親戚さえにも隠して入院されています。職場にも言うこと(感染したことを連絡する)が、怖いと言われる方もいらっしゃいます。中には、「ここから出て行け」と家に張り紙をされたり、心ない言葉を浴びせられたりした方々が多くいらっしゃいます。また、飲食店の経営者をはじめ宿泊業や旅行業者、観光業、飲食に関わる業種に従事されている方々は、経営への不安等でとても苦しんでおられます。繰り返し確認しますが、悪いのは病

気です。感染した人は、病気で苦しんでいる被害者です。そのことをみんなで、しっかり確認しましょう。例年なら、夏休み明け集会では、楽しかった思い出や体験した学びを共有し合う場ですが、今年は、清里小学校のみんなで互いの心を確認め合い、自分にできることを実行するための集会となりました。

私(校長の森山)は、清里小の子どもたちに自分のことを話しました。一番言いたくないことは、一番わかってほしいことだと思います。だからオンライン集会で、私自身のことを話しました。私は、7月31日(土)の午前1時頃、39度の高熱になり、解熱剤を飲みました。その日の明け方には、37度まで下がりましたが、保健所に連絡をしました。保健所からの指示で、病院でPCR検査を受けました。その検査で陽性となり、新型コロナウイルス感染症に感染していることがわかりました。血液検査やレントゲン、CT検査等を受けて、お医者さんに診断していただいたところその病状は、中等症Ⅰ(肺炎をおこしている)と診断されました。そして、8月1日(日)から8月9日(月)まで病院に入院して隔離されての治療と療養になりました。とても怖かったです。私の身体に対する怖さもありましたが、それ以上に、家族や接触した人にうつしていないか(感染させていないか)が、とても心配で、とても不安でした。同居している家族や保健所から私との接触者と判断された方々は、PCR検査を受けなければならなくなり、みなさん検査を受けられました。とても申し訳なく思いました。幸いなことに同居家族をはじめ、接触した人は、誰も感染していませんでした。本当にほっとしました。しかし、申し訳ないという気持ちがとても強くなりました。私の同居している家族は、濃厚接触者となり8月1日(日)から14日間は家から外出できなくなりました。また、私と接触した方は、検査日とその後の2日間は、家から外出できなくなりました。保健所から接触者と判断されなかった方の中でも、心配して自分から検査を受けられた方もいらっしゃいました。「ごめんなさい」と心から思いました。退院してすぐにお詫びしました。新型コロナウイルス感染症は治りましたが、心の不安は解消されていません。この話を子どもたちにオンラインでしたところ、子どもたちからは、「校長先生、身体をだいじにしてください」と温かい言葉や優しいまなざしをたくさんもらいました。子どもたちに話してよかったと思いました。とてもうれしかったです。また、清里小の先生方もみなさんが、私の身体と心を心配していただき、温かく助けていただいています。とても有り難いです。子どもたちや先生方の言葉や優しいまなざしは、「校長先生、身体に気をつけて、清里小でその責務を全うしてください」と言ってくれていると感じました。私はあらためて清里小の子どもたちみんなと先生方が、笑顔の登校、感謝の下校ができるように尽力したいと思いました。どうか保護者の皆様も、この厳しい状況を克服するためにご理解とご協力をお願いします。

新型コロナウイルスの感染防止のために予防に努めましょう

しっかりと新型コロナウイルスの感染防止のために次のことを継続していきましょう。

- ① 外出を控え、手洗い、うがい等を励行してください。特に手洗いは、頻繁に行ってください。また、免疫力を高めるためにも栄養、休養、睡眠を充分に取らせるようにして健康管理をお願いします。
- ② 風邪の症状や発熱、強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)の症状が見られるときは、必ず医療機関を受診してください。また診断内容については、学校までご連絡ください。また、熱中症も心配です。小学生は、まだ、体力も弱く、脱水症状を起こしやすいので、給水や体調管理をどうかご家庭や地域の協力をお願いいたします。

私たちの命は、親から授かった命です。私たちの命は、先祖からつながっている命です。私たちの命は、世界に一つだけの命です。私たちの命は、幸せになる命です。だからせいいっぱい生きるのです。親から授かり、先祖からつながる、だいじな、だいじな命を自分で守ること、人（みんな・なかま）の命は、みんなで守ること今一度、確かめ合いましょう。前期後半も、交通事故や水の事故等に遭わないように、そして、新型コロナウイルス感染症を克服できるように91名全員が過ごしてほしいと心から祈ります。